５月２９日　　**テーマ：「ソロモンの願い」**

聖書個所：Ⅰ列王記３章３節～１５節

◆今日のみことば

> 見よ。わたしはあなたに知恵の心と判断する心を与える。
>
> Ⅰ列王記３章１２節

◆メッセージ

皆さんは、何か欲しいものがあるなら言ってごらんなさいと言われたら、何と答えますか。「ゲーム、お金、自転車」などいろいろなお願いごとがでてきそうですね。

今から約３千年前に、イスラエルという国にソロモンという王様がいました。ソロモン王様はあの有名なダビデ王様の子どもでした。ある日、神さまはソロモン王様に「何か欲しいものがあるなら、それをあげよう」と言われました。ソロモン王様は、ダビデ王様というりっぱなお父さんがいましたのでうれしいこともたくさんありました。しかし、ソロモン王様はこの国の人たちがあまりにもおおぜいて、次から次へと難しいことがおきて相談されるので、どうして良いかとても困っていました。そこでソロモン王様は神さまに「このおおぜいの国の人々に、どちらが正しくどちらが間違っているかをきちんと教えてあげられるように知恵を与えてください」とお願いしました。

神さまはソロモン王様のこの願いをとても喜ばれました。それは自分のためにもっとお金が欲しいとか、もっと偉くなりたいとか願わずに、国の人々のために知恵をくださいと願ったからです。そこで神さまはソロモン王様の願いをかなえてくださいました。いえ、願った以上のことをしてくださいました。

みなさんも「あれが欲しい、こうなったらいいな」という願いごとがたくさんあると思います。しかしそのことよりも、神さまのみこころに従うために必要なことを願ってみませんか。みなさんの近くで何かこまったことや難しいことが起きたときに「神さま、どうしたら一番よいか教えてください」と、お祈りしましょう。神さまが願った以上のことをしてくださいます。

◆お祈り

「困ったことが起きたとき　どうしたら一番良いのか　分かるようにしてください。」

（大井教会伝道師　筒井光恵）